

釈迦内小で集会

応募者全員入賞です

ひまわり写真コンテストに248点

鳳鳴高 企業提供の景品抽選会も 生徒が審査

大館市釈迦内小（五十嵐経校長）で9日、釈迦内サンフラワープロジェクトの集会が開かれた。

を述べたほか、児童らの

頑張りをはたして協賛企業が提供した景品が当たる抽選も行った。



審査員を務めた大館鳳鳴高写真部員と写真に収まる釈迦内小児童

釈迦内では、同小を中心に地区挙げてひまわりを栽培。コンテストは、全校児童282人や保護者を対象に、畑に足を運んでもらうことや苦勞して植えたひまわりが花開いた感動を味わってほしいと昨年度から実施している。夏休み中に応募を受け付け、248点の応募があった。

審査員は、大館鳳鳴高写真部の6人が務め、先月上旬に審査した。作品一つ一つに「エネルギーで賞」「ヒースで賞」などと名前を付けて入賞とし、一言コメントを寄せた。

集会では、審査した6人がステージに上がり、「植物の入った写真は人物の表情を捉えるのが難しいが、表情がよく写っ

ていて素晴らしい」「どれもひまわりをきれいに撮れている写真ばかりで、賞を決めるのに困っ

た」などと講評した。この後、協賛企業が提供した菓子や商品券などの景品が当たる抽選会が

開かれた。コンテストの写真は、同校体育館渡り廊下に1年間を通して展示する。